在校生からのメッセージ

『図書室』　（看護学科　3年生　図書室の紳士）

私がこの学校を選んだのは、准看護師として働きながら看護師の資格を取得できる点でした。学業と病院勤務の両立はとても大変ですが、同じ環境で頑張っているクラスメイトと日々励まし合いクラスメイトや先生に相談しながら学校生活を送っています。また、クラスメイトの年代は様々で、その分色々な価値観や考え方があり、人生の勉強になります。一番気に入っている場所は様々な分野の図書があり、何でも話を聞いてくれる司書さんがいる図書室です。是非、利用してみてください。

『悩んでも大丈夫』　（准看護学科　1年生　走るおじょうさん）

家族に医療従事者がいない私が准看護師を目指したのは、自分自身を高めたかったからです。病院でのアルバイト経験等も全くの未経験で、初めての実習は文字通り右も左もわからず戸惑うばかりでしたが、グループメンバー同士で励まし合ったり、先生方に相談することで乗り切る事ができました。悩んだ時にすぐに解決できる環境である事が、ファビオラ看護学校の特徴だと思います。長かった実習を終えた今、創立以来合格率100%の伝統を受け継ぎ、先生方の温かいご支援のもと、クラス全員で協力し、全員合格を目指してがんばります。

卒業生からのメッセージ

「免許を持ってからがスタート」　（看護学科　平成21年度卒　S）

私は入学当初看護師になるのが不安でしたが、臨地実習で看護する楽しさを学び、クラスメイトや先生方に支えられ、看護師になることができました。卒業時の「看護師の免許を持つことがゴールではなく、看護師になって何がしたいか明確な目標を持って職務に当たるように」という言葉を胸に、今では自分が目標としていた後輩や看護学生の指導に当たっています。ファビオラで学んだ思いやりの心を忘れず、今後も看護だけでなく地域貢献していきたいと思います。

「切磋琢磨」　（准看護学科　令和元年度卒　みんなのお母さん）

私は長年、介護の仕事をしていました。仕事をする中で利用者さんが体の不調を訴えても何もできず、知識がないことに悔しい思いをしていましたが、子供の高校入学と同時に私も一緒に勉強しようと思い、看護師を目指しました。

入学直後は久しぶりの学生生活に戸惑い、また幅広い年代の方が在学しており一緒にやっていけるのか不安はありましたが、すぐに慣れることができました。また学習や実習で辛いこともありましたが、同じ目標を持っているクラスメイトと切磋琢磨し、見守ってくださった先生方のおかげで楽しく学ぶことができました。さまざまな世代と一緒に学び、お互いに刺激し合えるファビオラ看護学校は魅力的だと思います。